

燃 歳の神「オンベ」
え上がる炎に無病息災を祈願



▲二軒在家地区のオンベ



▲塩ノ岐地区のオンベ

町内の各集落で、歳の神「オンベ」が行われ、地区の皆さんが大勢集いました。2月3日は二軒在家地区や塩ノ岐地区などで「オンベ」に火が放たれ、集まった地区の方々は夜空に舞い上がる炎で餅を焼いて食べ、無病息災や家内安全を祈願していました。

只 「自然首都・只見」展
見の自然とエコパークへの取り組みを紹介

只見町ブナセンターが主催する「自然首都・只見」展が神奈川県横浜市の県民センターで12月24日～27日に開かれ、期間中延べ約300人が訪れました。会場では只見の自然や暮らしをパネルで紹介、併せてユネスコエコパークの取り組みも鈴木和次郎館長が説明しました。さらに町の物産やツル細工なども展示販売され、来館者の目を楽しませました。また、ブナセンター主任指導員、渡部和子さんの講演も好評で大勢の市民らが集いました。



▲只見の魅力をPRしたブナセンター企画展

只 ブナセンター講座
見で出会った巨木たち



▲只見の巨木の特徴などを説明する刈屋寿氏

1月19日に、ブナと川のミュージアムで弥彦山脈植物友の会会長の刈屋寿氏を講師に、ブナセンター講座「只見で出会った巨木たち」が開かれ、17名が参加しました。刈屋さんは「只見町史」を刊行するため、平成6年～12年まで只見町の植物を調査され、同時に巨樹や巨木も調査、「巨樹・巨木の番付表」制作にも携われました。刈屋さんは「今後、新しい巨樹・巨木が見つかる可能性がある。大きな木を見たらブナセンターへ」と呼びかけられました。

カ 新春カルタ会 カルタを見つめ、すばやくタッチ

明和保育所では、1月22日に新春カルタ会が開かれ、保育所見約40名が参加しました。5~6人のグループに分かれた児童は、真剣にカルタを見つめ、所長先生が読み上げると、元気に「はい」と声を出し、すばやくカルタに手を伸ばしていました。最後に、たくさん取った順に1位から3位を表彰、さらに、がんばり賞と併せみんなにワッペンが贈られ、笑顔で胸に付けてもらっていました。



▲真剣な表情でカルタに手を伸ばす保育所児

小 黒谷町蓮の原地区「天神講」 学生が「天神」と書きあげ書を学ぶ



▲天神講は今に伝わる貴重な地域行事のひとつ

黒谷町蓮の原地区の小学生20名が1月26日に朝日地区センターに集い「天神講」が行われました。「天神講」は古くから伝わる子どもを対象とした行事で、集まった子どもたちは、学問の神様と伝えられる天神様の「天神」の文字を毛筆で書き、書を学びながら触れ合いました。その後、保護者の皆さんが準備したごちそうを食べながら健やかな成長を願いました。なお、天神様の祠は黒谷地区にあります。

ほ ほうきづくり教室 ほうきを作りながら楽しく交流

朝日地区センターで、1月27日に「ほうきづくり教室」が開かれ、約10名がオリジナルのほうき作りに挑戦しました。講師には、しめ縄や座敷ほうき作りをされている渡部稔さん（福井）が招かれ、参加者は講師の指導を受けながら同センター前の花壇で育てたホウキモロコシを材料に丁寧にほうきを作りました。最後には、できあがったばかりのほうきを使って後片付けをし、感触を確かめました。



▲真剣にほうきを作る参加者

い 粘土細工教室 いろいろな粘土を組み合わせ作品づくり



▲細かい作業に取り組む参加者

明和地区センターで、1月25日に「粘土細工教室」が開かれ7名が参加、指導されているのは五十嵐誠子さん（南会津町）で、参加者は手工芸用の樹脂粘土や石粉粘土などを使い、粘土に塗料を混ぜて練りながら思い思いの形に仕上げていました。作っている作品は、飾り花や額に入れて飾る花嫁・花婿、弁天様などで、どれも細かいパーツを一つ一つ仕上げ、それを貼り付けて作品を完成させます。この教室は全6回行われ、作品は公民館まつりで展示されます。